

タイ王国における埋立ごみを対象とした廃棄物発電事業

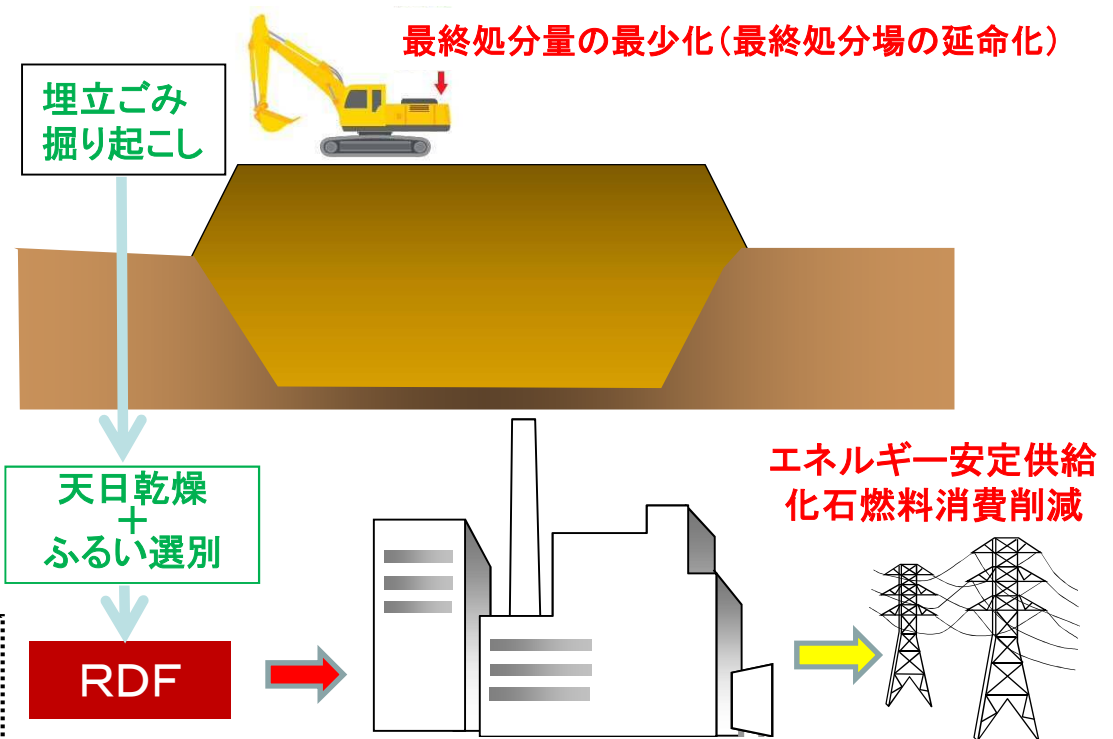
新日鉄住金エンジニアリング(株)

環境省「我が国循環産業海外展開事業化促進事業」(2015年度～) ⑤7

北九州市とチュラロンコン大学の環境技術交流をきっかけに開始。サムットプラカーン県の都市ごみ最終処分場の埋立ごみをRDF化することで発熱量を高め、RDFによる廃棄物発電を行う事業の調査・検討をする。埋立ごみを活用することで、処分場の延命化と温暖化ガス排出抑制も図る。



サムットプラカーン県最終処分場
バンコク都に隣接する。同最終処分場にはサムットプラカーン県及びバンコク都からの一般廃棄物(日量3,000~4,000トン)が運び込まれ、埋立が行われている。



- 利用技術: ストーキ式ごみ焼却発電技術
(前処理として選別(RDF化)施設)
- 発電設備能力: 10MW
(第二段階 100MW)